十和田市 議会だより

No.88

8月臨時会・9月定例会号

一般質問 (P4～13)


(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業


米価格の安定化


財政調整基金の今後の見込み


箱わな自動捕獲通知システム


小中学校におけるジェンダー平等


青い森紅サーモンを返礼品に


苦悩する農業者への支援


事故多発交差点の安全対策


窓口時間短縮の効果検証


令和７年度決算


民間連携でリユース促進


若葉公園南側の分離帯撤去


有害鳥獣対策


セーフコミュニティ国際認証の更新


ペットボトルキャップの回収推進


旧金崎団地の跡地活用


ごみ処理有料化の方向性

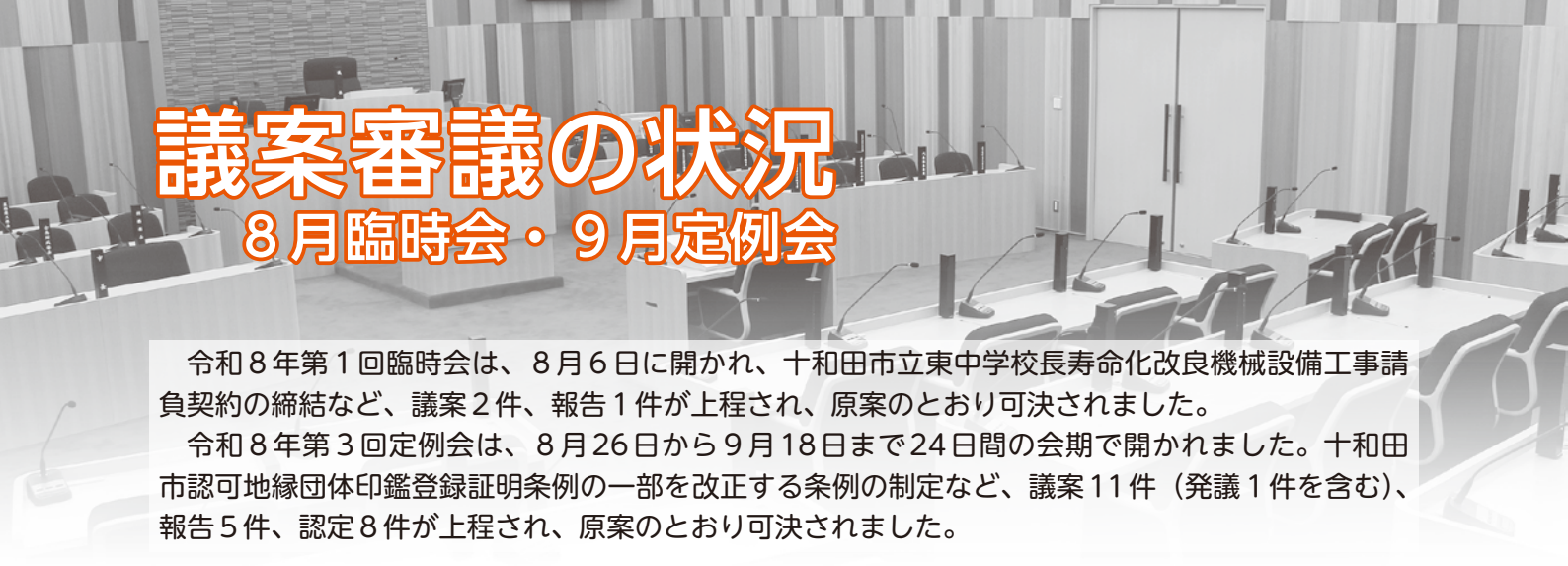

中央病院の診療報酬加算


水道料金の基本料金設定

目次

議案審議の状況等 …… P2
令和７年度決算審査 …… P3
本会議・各委員会の議員出欠状況 … P13
行政視察報告等 …… P14

十和田湖畔（休屋地区）の紅葉
（写真提供　十和田奥入瀬観光機構）



議案審議の状況
８月臨時会・９月定例会

令和８年第１回臨時会は、８月６日に開かれ、十和田市立東中学校長寿命化改良機械設備工事請負契約の締結など、議案２件、報告１件が上程され、原案のとおり可決されました。

令和８年第３回定例会は、８月26日から９月18日まで24日間の会期で開かれました。十和田市認可地縁団体印鑑登録証明条例の一部を改正する条例の制定など、議案11件（発議１件を含む）、報告５件、認定８件が上程され、原案のとおり可決されました。

（８月臨時会）

十和田市屋内遊戯施設整備業務委託契約を締結 可決

市民交流プラザ「トワーレ」内に、十和田湖にまつわる伝承（八郎太郎伝説）をテーマにした体験型の遊び場を整備します。

◆契約金額　１億8,216万円
◆相 手 方　株式会社コトブキ青森営業所
◆委託期間　令和９年３月19日まで
◆整備内容
乳幼児エリア（概ね０歳～３歳まで）
幼児エリア（概ね３歳～６歳まで）
児童エリア（概ね６歳～12歳まで）



（９月定例会）

第３次十和田市総合計画基本構想 可決

総合的かつ計画的な行政運営を行うため、最上位計画である「第３次十和田市総合計画」における基本構想を定めました。

◆将来都市像

～幸福度No.1～　自然あふれる煌（きら）めくまち　とわだ

◆計画の構成と期間
⑴基本構想　令和9年度～令和18年度まで（10年間）
⑵基本計画　前期基本計画５年間、
後期基本計画５年間
⑶実施計画　５年間（常に５年先を見据えた計画）とし、毎年度見直し

（９月定例会）

中央病院で病児・病後児保育事業を実施 可決

十和田東病院の閉院に伴い、新たに市立中央病院において病児・病後児保育事業を実施します。

◆開設日　月曜日～金曜日まで（祝日、年末年始を除く）
◆時　間　午前８時～午後４時30分まで（予定）
◆対象者　小学３年生までの児童
◆定　員　３人



（９月定例会）

小中学校の電話機に通話録音・告知機能を導入 可決

教職員が安心して働ける環境を整備するため、小中学校の外線電話に通話録音及び通話録音告知機能を導入します。

◆設置校
全ての市立小中学校

◆開始時期
令和９年２月上旬



「令和７年度決算審査 すべて認定」

令和７年度の一般会計、各特別会計、各企業会計の決算は、全議員で構成する決算審査特別委員会の審査を経て、いずれも認定されました。

決算審査特別委員会での主な質疑を抜粋して掲載します。

決算審査特別委員会での主な質疑

十和田市ＰＲ事業

問　令和７年８月に実施した「開運！なんでも鑑定団」の公開収録は大変好評だったと思うが、この他に実施した事業や、今後実施予定の事業はあるか。

答　昨年度は青森朝日放送主催の「ふるさと自慢わがまちCM大賞」にＰＲ動画を応募し、30回程度CMが放映されました。

今後は、令和９年３月に「ＮＨＫのど自慢」の公開生放送を実施する予定です。

デジタル化推進事業

問　市ホームページや市ＬＩＮＥ公式アカウントにＡＩチャットボットを搭載したことによる業務時間の削減効果は。

答　チャットボットへの問合せに対し、仮に職員が対応した場合を１件当たり５分程度と試算した場合、300時間程度の削減効果があったと考えています。

問　回答の精度向上に向けた取組は。

答　各課に対し、ホームページの内容の見直しや、テスト版のチャットボットを利用して回答の正確性をチェックするよう周知し、精度向上に努めています。



秋まつり運営事業について

問　秋まつり中日のお囃子競演会は、ボランティアの方々が運営していると聞くが、市として支援することはできないか。

答　秋まつり終了後の関係者反省会等において検討していきます。



民生児童委員事業

問　民生児童委員の平均年齢は。

答　平均年齢は71歳です。

問　後任が見つからず、やめられないとの声を聞くが、担い手確保に向けた取組は。

答　民生委員児童委員協議会等と連携し、現状や課題などを整理するとともに、担い手確保に関する先進事例を参考にしながら粘り強く取り組んでいきます。



公園等和式便器改修事業

問　市内公園の洋式化の進捗状況は。

答　令和７年度で事業が終了し、概ね洋式化されています。





農業経営収入保険加入促進事業

問　市内農家の保険への加入率は。

答　令和７年度は53.6％、令和８年度は57.1％です。

問　加入した農家の反応はどうか。

答　作物価格の変動に伴う収入の減少だけでなく、事故やけがで収穫できない場合の収入減も支援対象となるため、加入してよかったとの声が寄せられています。



第３回定例会は、19人の議員から一般質問がありました。紙面の都合上、各議員が指定した質問事項とその答弁を要約して掲載しています。詳細については、十和田市ホームページ内、会議録検索システム（12月掲載予定）をご覧ください。



You Tube
録画中継は
こちらから

小山田　剛　士
（黎明親和会）

（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業　現時点の方向性は

様々な視点から精査し　地域との共生が可能か見極める

問　令和８年第２回定例会以降の進捗状況は。

答　現在、事業者においてイヌワシ等の生態系への影響調査を行っています。その状況を注視しつつ、様々な視点から精査を進め、本定例会最終日の全員協議会において、現時点での考え方を報告する予定です。

問　現時点での方向性は。

答　風力発電事業の実施に当たっては、地域振興への貢献などのプラス面だけでなく、市民生活や豊かな自然・生態系への影響等といったマイナス面、事業者の対応等、様々な視点から地域との共生が可能であるかを見極めることが何よりも重要です。中でも希少猛禽類等の貴重な動植物は、将来へ引き継ぐべき貴重な財産であることから、本事業の進展による自然環境や生態系への影響を強く懸念しています。この懸念を払拭できる技術的対策等が確立されない限り、賛成の意向を示すことは難しいため、今後の事業者の対策や調査結果等を踏まえて判断していきます。

問　地域住民の理解が十分に得られていないという懸念に対する認識は。

答　事業者による環境影響評価手続に基づく住民説明会のほか、自主的な中間報告会がこれまで複数回開催されていますが、依然として事業による影響を危惧する意見が多く出されており、現時点では、地域住民から十分な理解が得られているとは言い難い状況であると考えています。

問　地域住民等から意見を聞く機会を設ける考えは。

答　事業内容等を精査する際に、着眼点や要点などについて、有識者や関係団体等から意見を頂くことを想定しており、今後必要に応じて実施していきます。



You Tube
録画中継は
こちらから

山　端　美樹子
（自民公明クラブ）

東十二番町事故多発交差点　新たな安全対策は

十和田警察署が　信号機を設置する方向で検討

問　東十二番町交差点北西側十字路で事故が多発する要因は。

答　過去５年間で19件の人身交通事故が発生しており、事故原因の約６割が南北方向の一時不停止で、約７割が市民となっています。十和田警察署との合同視察の結果、交差点南側からの見通しの悪さや一時停止等の標識が目立たない点、交差点として認識されにくい点が要因として考えられるとの認識を共有しています。

問　新たな安全対策について市の取組は。

答　合同視察の結果、新たな対策として導流帯やポストコーンの設置、交差点内の黄色いカラー舗装を整備するとともに、十和田警察署長への要望の結果、信号機を設置する方向で検討するとの回答を得ています。

問　大規模災害が起きたときの広域医療体制について、本市はどのように被災地を支えるのか。

答　中央病院にはＤＭＡＴ隊員が10名おり、災害時の医療派遣に備えています。能登半島地震では石川県へ派遣し、青森県東方沖地震では、むつ総合病院から３名の患者を受け入れました。平時から国や県が実施する大規模地震時医療活動訓練や東北ブロックＤＭＡＴ参集訓練などを通し、災害発生時に迅速な対応ができるよう、広域災害医療体制の充実に取り組んでいます。

問　病児・病後児保育事業の委託先である十和田東病院が閉院するが、今後も利用できるのか。

答　中央病院での開設に向けて、運営体制や施設整備、財政面の協議を進めています。利用される子育て世帯への影響を最小限に抑えられるよう、可能な限り早期の開設に向けて準備を進めます。



You Tube
録画中継は
こちらから

氣田量子
（自民公明クラブ）

セーフコミュニティ国際認証更新に向けたロードマップは

令和９年度中に方向性を示す

問　セーフコミュニティに係る新たな条例制定または現行の条例改正の必要性の検討状況は。

答　現行条例は理念と矛盾するものではなく、条例の改正・制定の検討よりも実効性のある推進体制の整備が重要と考えています。

問　国際認証更新に向けたロードマップは。

答　前回の認証取得時を参考に令和９年度中に具体的な手順や時期等の方向性を示す予定です。

問　東地区コミュニティ推進協議会で実施している「防災親子キャンプ」のような避難生活の疑似体験を行う体験型防災教育を市主催で市全域に展開しては。

答　自主防災組織などの研修において事例紹介し、実施する団体や地域に講師派遣や市の備蓄物資の提供等を行うことで支援します。

問　避難所等の広域避難体制を確立する考えは。

答　県主体で県内全市町村間での相互応援に関する協定を締結するなど、広域的な支援・避難体制が確立されています。

問　十和田東病院閉院後の病児・病後児保育事業の継続に向けた取組は。

答　中央病院内での一日でも早い開設に向けて、鋭意協議を進めています。

問　電話不要で時間を問わず予約ができるなど、利用しやすいシステムを導入する考えは。

答　国、県の補助金の活用も含め検討します。

問　文字の読み書きや算数に不安がある児童生徒が誰一人取り残されないよう、デジタル技術を活用し早期のつまずき予防に取り組む考えは。

答　デジタル活用の有効事例を各校で共有するなど支援体制の底上げを図り、学習に困難さを抱える児童生徒の支援に全力で取り組みます。



You Tube
録画中継は
こちらから

笹渕峰尚
（黎明親和会）

米価格の安定化　国へ働きかけを

動向を注視し必要に応じて要望する

問　昨今の記録的な米価格の乱高下が農業経営や担い手確保に与える影響をどう捉えているか。

答　農家経営の見通しをさらに不透明にし、本市の基幹産業である農業の持続性と担い手の確保に大きな打撃を与えるものと懸念しています。

問　前年の高値による収入増加に伴い、税金面での負担増加が懸念されるが、課税状況はどのように推移しているか。

答　令和８年度の農業所得者の個人市民税は、納税者数が1,073人、課税額が約３億3,800万円で、前年度比で280人増、約２億1,200万円の増額となっています。

問　収入保険や農業経営基盤強化準備金等の活用に向けた支援策は。

答　収入保険は「農業収入保険加入促進事業」等の実施により加入者が増加しています。準備金は、設備投資に意欲のある農業者から相談があった際に、活用を促していきます。

問　スマート農業による所得向上を支援しては。

答　令和３年度から「スマート農業機械導入支援事業」を実施し、農業所得の向上に向けた後押しになっていると認識しており、今後も事業を継続したいと考えています。

問　価格安定化について国へ働きかける考えは。

答　国の動向を注視し、必要に応じて県や市長会を通じて要望していきます。

問　生成ＡＩの全庁的な活用により職員の働き方改革と行政サービスの向上を図る考えは。

答　国が実証を進める答弁作成支援ＡＩ「源内」などの先進的技術の全庁的な導入等により、業務効率化と行政サービスの向上につなげたいと考えており、「第２次ＤＸ推進ビジョン」の策定過程において、より効果的な取組を検討します。



You Tube
録画中継は
こちらから

中　尾　利　香
（自民公明クラブ）

窓口時間短縮の効果検証を

今年度中に検討を進め 本館１階から試験的に実施

問　市民にも職員にも負担の少ない窓口を目指すため、デジタル化を進めるとともに窓口受付時間の短縮を試験的に行い、効果を検証しては。

答　市民の利便性向上等を目的に設置した窓口改革ワーキンググループにおいて、今年度中に検討を進めることとしており、本館１階フロアから試験的に実施し、影響と効果を検証します。

問　中心市街地活性化基本計画終了後の中心市街地商店街の景観について、どのような方針、計画に基づいて取り組んでいるのか。

答　商店街関係者などで構成される「商店街エリアビジョン策定検討会」において、アーケード撤去を含めた新たな魅力向上など、将来像を具現化するエリアビジョン策定に向けた取組を重ねています。具体的な提案があった際には、費用対効果を検証しながら、実現可能なものについて支援していきます。

問　発達障がいのある高校生の卒業後の就職や自立等に関する相談・支援体制は。

答　障がい者基幹相談支援センター等において幅広い相談に対応しており、困り事を抱える方々の相談窓口の利用につながるよう、近隣高校とも連携し、誰一人取り残さない切れ目のない支援に取り組みます。

問　奥入瀬渓流温泉スキー場のシバザクラの来場者に、地元の食や特産品、お土産品などを購入してもらうための取組は。

答　芝桜アートマルシェが開催され、近年来場者が増加していることから、ニーズを把握し、食事や特産品等を販売する事業者を確保し、さらなる満足度向上と魅力発信に取り組みます。



You Tube
録画中継は
こちらから

中　嶋　秀　一
（自民公明クラブ）

ペットボトルキャップ 回収の推進を

試験的に市庁舎内に 回収容器を設置する

問　開発途上国へのワクチン支援活動につながるペットボトルキャップの回収を、市民の協力を得ながら推進してはどうか。

答　リサイクルや身近な社会貢献活動として意義深いものと認識しており、まずは市庁舎内に回収容器を設置し試験的に取り組みます。

問　各種警報発表時の観光客への周知はどのように行っているか。

答　レベル３以上の警報が発表された場合、緊急速報メールのほか、防災行政無線等で周知しています。観光客には、宿泊・観光施設と連携し、メール連絡網で情報提供を行うほか、路線バスを運行するＪＲバスと連携を強化し、外国人観光客が翻訳機能等を通じて、災害情報やバス運行情報を取得できる環境を整備しています。

問　今年６月にレベル４土砂災害危険警報が市全域に発表されたが、具体的な対象地域が分かるように発表できないか。

答　青森地方気象台が市町村単位で発表しているため対象地域を限定した発表は難しく、市で速やかに対象地域を特定し、改めて市公式ラインや防災無線等でお知らせするよう努めます。

問　十和田湖畔地区住民が買物や病院等の用事を済ませるための交通機関を試験運行しては。

答　すでに実施している自家用有償旅客運送の一層の利便性向上を図るため、市街地までの延伸について運行事業者と協議を進めています。

問　次期地域公共交通計画策定の際、十和田湖畔地区を「生活交通を重点的に確保すべき地域」と位置づける考えは。

答　実情や課題等を総合的に勘案した上で、十和田市地域公共交通会議において協議します。



You Tube
録画中継は
こちらから

工　藤　正　廣
（柊の会）

財政調整基金　今後の見込みは

令和13年度末に 18億5,000万円まで減少

問　令和９年度以降の５年間の財政調整基金残高の見込みは。

答　利率の上昇や学校・施設の大規模改修を見込んだ現在考えられる最も厳しい財政シミュレーションでは、基金残高は年々減少し、令和13年度末には、18億5,000万円となる見込みです。

年　度	財政調整基金残高
令和　９年度末	約41億5,000万円
令和10年度末	約37億2,000万円
令和11年度末	約30億2,000万円
令和12年度末	約23億6,000万円
令和13年度末	約18億5,000万円

問　ごみ減量化の取組は。

答　第５次ごみ減量行動計画に基づいた取組により、排出量は減少傾向にありますが、今後ごみ処理費の増加や新ごみ処理施設の整備も予定されているため、さらなるごみの減量及びリサイクルの推進が必要であり、新たに市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定し、令和17年度の１人１日あたりの排出量目標を833ｇに設定しました。生ごみ回収事業の拡充や紙ごみ資源化事業など、様々な取組を着実に進めます。

問　中央病院の周産期医療体制の整備予定は。

答　産科再開に向け弘前大学へ医師派遣を強く要望してきましたが、県全体の産科医不足や医師の偏在、働き方改革等の影響により複数名の常勤医確保は困難で、現時点で再開の見通しは立っていません。今年４月に弘前大学・県・県立中央病院の３者により弘前大学医学部附属病院に設置された「地域総合診療センター」の医師配置を調整する人事マネジメント機能や医師派遣調整機能に期待しており、県との連携を密にしながら、産科医の確保に引き続き努めます。



You Tube
録画中継は
こちらから

堰野端　展　雄
（黎明親和会）

令和７年度決算 市長はどう捉えるか

一定の成果はあるが より一層の財政規律に努める

問　令和７年度決算を市長はどう捉えているか。

答　国・県の交付金等を最大限活用するなど、財源確保を意識しながら、市民交流プラザ「トワーレ」の屋内遊戯施設整備や妊婦健康診査通院費等給付事業の増額、不妊治療応援事業等を実施しました。さらに市長として本格的に編成を行った令和８年度当初予算では、公約の一つである保育料無償化の実現を通じ、子育て世帯の負担軽減を図ることができたと認識しています。

また、課題となっている中央病院の経営改善についても、様々な取組を行った結果、令和６年度決算で約10億7,000万円あった純損失を、令和７年度決算では約１億6,000万円まで圧縮しましたが、資金不足比率の上昇や財政調整基金の残高減少も見込まれるため、一層の財政規律を保ち、政策実現に向けて取り組みます。

問　新教育長としての教育方針は。

答　教育行政のより一層の充実を図るため、１つ目として、20年後や30年後を見据えて学校の再編と適正化を行い、よりよい教育環境を提供することで多様な考え方に触れて、豊かに成長できる環境づくりを目指します。２つ目は、知識技能の習得や思考力、判断力などの育成に加え、自ら問いを立てて他者と対話しながら納得解を導き出す当事者意識を持った学びを重視します。３つ目は不登校支援であり、現在の施策に加え、不安や困難を抱える保護者自身を支える仕組みづくりに取り組みます。４つ目は、障がいの有無や国籍、貧困などの背景にかかわらず、全ての人が取り残されずに共に学んだり、体を動かしたり、文化や芸術を親しむことのできる教育行政の執行に努めます。



You Tube
録画中継は
こちらから

竹　島　直　樹
（柊の会）

旧金崎団地の跡地活用を

今年度末までに利活用の考え方をまとめる

問　旧金崎団地の跡地活用に対する市の見解は。

答　この地域は、第一種低層住居専用地域に指定しており、独立した店舗や商業施設を建築することができないなど、静観な住宅地として良好な住環境が確保されています。この状況を踏まえ、今年度末までに地域の発展や住民の利便性向上につながる利活用の考え方をまとめることとしており、地域住民の意見を聞きながら用途変更の可能性も視野に入れて幅広く検討を進めています。

問　上下水道料金が三沢市と比較して高い理由は。

答　上下水道事業は、使用者からの料金収入で運営する独立採算制であり、運営に要する費用については、地理的条件や人口、施設規模によって料金が異なります。一般的な家庭の上下水道料金を税抜で比較すると、当市は7,479円、三沢市は5,895円であり、当市の方が高くなっています。この主な理由は、人口１万人当たりの管路の長さや処理場などの施設数が三沢市よりも多く、維持管理にかかる費用が膨らむためです。

問　中央病院の資金不足比率（※）の見込みは。

※公営企業の健全性を示す指標で、公営企業会計の資金不足（赤字）が、事業規模に対してどのくらいの割合になるかを示します。算出した資金不足額を医業収益で割り返したもの。

答　令和８年度の資金不足比率は現時点で20.6％となっており、引き続き患者数の増加に向けた取組等による医業収益の増加を図ります。それでも経営状況が改善されない場合には、給与水準の引下げを最後の手段として収支均衡に努めます。



You Tube
録画中継は
こちらから

斉　藤　重　美
（自民公明クラブ）

箱わな自動捕獲通知システム導入台数を増やす考えは

必要な台数を追加し効率的な捕獲体制を整える

問　箱わな自動捕獲通知システムは、毎日の見回り負担の軽減や早期の状況把握など、多くのメリットがあることから台数を増やす方向で検討してはどうか。

答　捕獲体制の強化として、箱わなやくくりわなの増設、狩猟免許の取得支援による狩猟者の確保、スマート捕獲機器の導入等を進めています。また、捕獲に当たる鳥獣被害対策実施隊員の負担軽減を図るため、これまで自動捕獲通知システムを10台導入しており、今後も必要な台数を追加し、より効率的な捕獲体制を整えます。

問　横断歩道や停止線などの道路標示は安全確保に不可欠だが、郊外の道路では経年劣化で消えかかっている箇所が多く、交通事故のリスクが懸念される。市内全域の道路標示を引き直すべきと考えるが、市の対応は。

答　横断歩道や停止線、止まれの文字の引き直しについては、いずれも青森県公安委員会の所管となるため、市に情報が寄せられた場合は、十和田警察署に速やかに情報提供を行い、早期の対応を要望しています。

問　農地の大区画化は、担い手への農地集積、集約化、作業の効率化につながるが、費用負担が発生し農業者が手を出しにくい。国が実施する支援事業に市でかさ上げ補助をする考えは。

答　国の「大区画化等加速化支援事業」は、令和７年度から５か年で実施され、農業者が自ら整備する農地の畦畔の除去や高さ調整等の取組を支援するもので、工事内容に応じて定額補助を行い、超過分は農業者の自己負担となります。市独自のかさ上げ補助については、新規事業でまだ実績がないため、今後の実施動向を見極めながら検討していきます。



You Tube
録画中継は
こちらから

山　田　洋　子
（柊の会）

民間連携でリユース促進を

市ホームページ等で フリマアプリの活用を紹介

問　粗大ごみの減量や資源の有効活用のため、フリマアプリ等の民間サービスを活用し、リユースを促進する考えはあるか。

答　粗大ごみの中には利用可能な家具や日用品も含まれることから、今後はフリマアプリを活用した不用品の譲渡や出品ができるよう、市ホームページ等を通じて紹介するなど、民間事業者と連携し、リユース促進を図っていきます。

問　児童生徒の学習用デジタル端末の普及を踏まえ、市民図書館に電源利用スペースを試行的に設ける考えは。

答　現時点で設ける予定はありませんが、学習活動等で端末を使う機会が増えている状況を踏まえ、他自治体図書館の実情や対応策などの事例を参考としながら、必要性を検討します。

問　市教育委員会が自らの地域の魅力的な教育実践や恵まれた環境を公式ＳＮＳで発信することで、学生や教員の関心を引き、結果的に教育環境がより豊かになると思うが、市の考えは。

答　市内小学校を舞台にしたドキュメンタリーや体験動画などは、当市で働くことの魅力発信にもつながることから、公式ＳＮＳ等の活用を念頭に、県教育委員会とも連携を図りながら庁内関係課と協議していきます。

問　教職員の私的ＳＮＳでの児童生徒の写真投稿など、不適切利用が社会問題となっているが、児童生徒の安全を守るルールの徹底状況は。

答　国・県の方針に基づき、私的な連絡は処分の対象となることや学校所有カメラの使用など、各校へ具体的な指導を行うほか、県教育委員会が策定した研修用資料を活用し、毎年、教職員を対象に研修を実施するように求めています。



You Tube
録画中継は
こちらから

今　泉　信　明
（立憲農民クラブ）

ごみ処理有料化の方向性は

計画に基づき導入を検討

問　一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を今年３月に策定した目的は。

答　ごみの減量、資源として再利用し、環境への負担を小さくすることを目的に策定しました。本計画では、10年後（2035年度）の可燃ごみ排出量を１人１日あたり709ｇまで削減する目標を掲げており、市民・事業者と一丸となり、ごみの減量と資源化等に向け、積極的に取り組んでいく方針です。

問　計画にあるごみ処理有料化についてどのように考えているか。

答　今後、新ごみ処理施設の整備や維持管理費に多額の費用が見込まれることから、ごみの有料化（※）による財政負担の軽減やごみ排出抑制のため、本計画においてごみ有料化の導入について検討していくと定めています。

（※家庭ごみの処理にかかる費用の一部をごみ袋の値段に上乗せし、ごみの排出者に負担してもらうもの。）

問　令和７年の町内会加入率は58％であり、仮に50％を切るようであれば町内会によるごみステーションの維持管理ができなくなるおそれがあるが、市の考えは。

答　今後も町内会で維持管理を継続していけるよう、課題解決を図っている事例などを収集、共有しながら、管理に困っている町内会から話を伺い、支援したいと考えています。

問　（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業による地下水への影響をどのように捉えているか。

答　事業者から環境影響評価準備書が提出された場合は、その内容について、国・県で審査会等を設けて十分な審査を行うこととなっており、引き続き地域貢献や市民生活への影響、環境保全等、様々な観点から精査した上で、意見を述べていきたいと考えています。



You Tube
録画中継は
こちらから

久 慈 年 和
（立憲農民クラブ）

小中学校におけるジェンダー平等意識づくりの取組は

誰もが自分らしく生きられる教育環境の充実に努める

問　第３次十和田市男女共同参画社会推進計画の重点項目「学びの場におけるジェンダー平等への意識づくり」の取組状況は。

答　市教育委員会では、児童生徒が固定的な性別役割分担意識にとらわれず、誰もが自分らしく生きられる教育環境を整えることを目的に、３つの取組を進めています。第１に、男女混合名簿の導入や「さん」づけ呼称の統一、柔軟に選択できる制服への見直し等、多様性に配慮した学校づくり。第２に、道徳や総合的な学習の時間を活用し、ジェンダー平等について考える授業や多様な生き方・進路を学ぶキャリア教育の展開。第３に、教職員の無意識の偏見を解消するため「十和田市男女共同参画に係る公的表現のガイドライン」を配布し、日常の声がけや指導における固定観念の払拭を図っています。

問　男女混合名簿導入の現状と課題は。

答　健康診断や保健体育など男女別で行う活動時の整列や確認といった「運用面での不便さ」が挙げられていましたが、既に導入している学校において、氏名欄の色分けや、必要に応じた「男女別名簿」の柔軟な併用などにより、大きな混乱もなく円滑に運用されています。市教育委員会ではこうした工夫により運用上の課題は十分克服可能であり、義務教育の実践の場でジェンダー平等を推進することは例外なく必要であると考え、校長会や学校訪問などの場を通して、その意義や工夫事例を伝達してきました。その結果、令和８年度は、新たに小学校４校、中学校１校の計５校で導入し、現在は、小学校13校中８校、中学校９校中５校で導入しており、令和９年度には全ての小・中学校で導入を予定しています。



You Tube
録画中継は
こちらから

太 田 正 幸
（立憲農民クラブ）

若葉公園南側の分離帯撤去を

部分的な撤去について検討

問　若葉公園南側の分離帯を撤去する考えは。

答　全面撤去は交通事故の増加が懸念されるため難しいと考えますが、部分的な撤去は、迂回の必要がなくなるなど、利便性向上につながるため、撤去手法について検討します。

問　官庁街通りに自転車の安全な通行空間を確保するため、自転車専用通行帯設置の考えは。

答　現状の歩道内において、自転車の適切な通行区分を促すことが重要であるため、路面標示等による通行区分の明確化に向けて検討します。

問　次期総合計画において「市民の幸福度」を指標として取り入れることで、市長公約に掲げた事業と整合性がとれなくなることも考えられるが、計画と公約のどちらを優先するか。

答　実情や課題等の変化により公約に掲げた事業の見直しが必要となる場合もあると考えます。

問　令和13年度に切田中学校を廃校するとのことだが、指定避難所としての機能はどうなるか。

答　地域住民の動線を考慮しながら、代替施設の有無も含め、これから検討していきます。

問　市民交流プラザ「トワーレ」内に整備する屋内遊戯施設は、対象年齢により３つのエリアに分かれる設計となっている。子供が複数いる親など、保護者の見守りだけでは目が行き届かないことが想定されるが、安全対策は。

答　人員配置や防犯カメラの増設等についても検討し、安心して利用いただける環境づくりに取り組みたいと考えています。

問　職員の議会対応の負担軽減に向け、パソコンやタブレットを活用し情報共有を図る考えは。

答　今後検討します。



You Tube
録画中継は
こちらから

山　端　　博
（黎明親和会）

中央病院の強みを生かした戦略的な診療報酬の加算を

取得できる加算は獲得し経営改善を推し進める

問　令和７年度病院事業会計決算では、入院や外来の患者数、医業収益等の実績から経営努力の成果が表れていると感じるが、市としての評価と収支改善に寄与した要因をどのように分析しているか。

答　純損失は約１億6,000万円となり、前年度から約９億1,000万円の収支改善となりました。経営アドバイザーの提言を契機に経営改善チームを立ち上げ、全職員が一丸となって取り組んだ成果であると考えます。

問　高騰する経費に対し、具体的にどのようなコスト削減策を実施したのか。

答　エレベーター保守などの委託契約の見直しや、院内保育所の利用実績を踏まえた開所日の見直し、他院との診療材料の共同調達等により経費を削減しています。

問　人材確保と人件費比率の目標設定55％のバランスをどう取るのか。

答　適正な給与水準の維持は、担い手である医療従事者のモチベーション維持や人材確保に直結するため、給料の引下げは最終手段と考えています。まずは診療報酬の増加に直結する新たな加算項目の取得等による増収と業務の見直しによる費用削減によって収支均衡を目指します。

問　国の制度改正に受け身にならず、中央病院の強みを生かして戦略的に診療報酬の加算を獲得していくための道筋は。

答　他院への診療応援による「医療提供機能連携確保加算」を10月から開始した場合、半年間で約1,600万円の増収が見込まれます。また、手術件数等の複数の要件を満たすことで年間約１億１千万円の増収が見込める「急性期総合体制加算」の取得も目指しており、取得できる加算は獲得して経営改善を推し進めます。



You Tube
録画中継は
こちらから

小　川　洋　平
（自民公明クラブ）

青い森紅サーモンふるさと納税の返礼品に

出品に向けて調査を進める

問　青い森紅サーモンについて、地域資源、地域ブランドとしてどのように認識しているか。

答　全国的に需要の高いサーモンを県の特産品にすることを目指し、本市にある地方独立行政法人青森県産業技術センター内水面研究所が開発したものであり、他のサーモンに比べ身が鮮やかで美しい紅色であることやうまみも強く、良質な肉質が特徴です。本市においてもブランド化の推進に努めてきましたが、その存在や魅力が市民に十分に浸透しているとは言えず、認知度の向上とさらなる消費拡大が課題であると認識しています。今後は、市内で開催されるイベント等において積極的なＰＲ活動を展開するなど、多くの市民に魅力を知っていただく機会を創出したいと考えています。

問　ふるさと納税の返礼品とする考えは。

答　他自治体において返礼品としている事例があるため、市内の事業者から情報収集し、出品に向けた可能性を調査していきます。

問　県が管理する主要地方道田代十和田線は、観光、物流、地域間交流のための重要な路線であるため、通年利用または冬期閉鎖の早期解除を目指すべきと考えるが、市の認識は。

答　相当量の積雪に加え、山側のり面上部には春先まで雪が残り、雪崩のおそれがあることから、除雪作業を前倒ししても安全な通行の確保や解除を大幅に早めることは困難であると県から伺っており、冬期閉鎖の解除は県において安全確保が確認できた時点で可能な限り早期に行われているものと認識しています。

問　早期開通に向け県に要望する考えは。

答　通年利用や今以上の早期解除は、実現が困難であると伺っていることから、県への要望活動は考えていません。



You Tube
録画中継は
こちらから

江　渡　信　貴
（自民公明クラブ）

ガバメントクラウドファンディングを有害鳥獣対策に活用しては

前向きに検討する

問　有害鳥獣による農作物の被害額と面積は。

答　主にイノシシによる長芋や水稲への被害が発生し、昨年度は47件、被害金額は約465万円、面積は約２ヘクタールと、記録の残る平成27年度以降でいずれも過去最高となります。

問　ガバメントクラウドファンディング（※）を活用し、対策に充てることはできないか。

（※ふるさと納税の仕組みを活用して、地方自治体が特定の「使い道・課題解決プロジェクト」のために行うクラウドファンディング）

答　令和７年度よりクラウドファンディングの仕組みを活用したふるさと納税の寄附を募集していることや、今後も有害鳥獣対策費用の増加が見込まれることから、前向きに検討します。

問　人口減少が進む中、市外に住みながら当市に関心を持ち、訪問やふるさと納税等を通じて関わる関係人口を増やすことが大切と考えるが、市公式ＬＩＮＥを活用した取組は。

答　市政・防災情報や観光・移住などの魅力を発信しており、登録者の約１割が県外の方と推測されます。若年層の転出が多いことから、大学の歓迎会やイベントなどを通じて市外の方へも登録を働きかけ、継続的に市の情報や魅力を届けることで関係人口の獲得に努めています。

問　市ＰＲ動画の再生回数を増やし、より多くの方に知ってもらうために意識していることは。

答　新設したシティプロモーション課を中心に、職員によるインスタグラム「十和田市職員の推しごと」を開設し、ショート動画などで市の魅力を発信しています。「十和田にんにく娘」の活用などインパクトを重視し、冒頭の２秒で惹きつける工夫により多くの再生数を記録しており、今後も発信内容の体系化や充実を図り、市民が誰かに伝えたくなるような情報発信に努めます。



You Tube
録画中継は
こちらから

小笠原　良　子
（日本共産党）

水道料金の基本料金どのように決めているのか

適正なコスト計算に基づき設定

問　他市に比べて水道料金が高いという声を聞くが、基本料金はどのように決めているか。

答　水道事業は、利用料金を主な財源とする独立採算制を基本としており、地理的条件や人口規模に応じた適正なコスト計算（総括原価方式）に基づいて料金が設定されています。特に基本料金は、施設維持や公平性確保に不可欠であり、引下げを行うと財政基盤が弱まり、施設更新や耐震化などの必要な投資が遅れ、水の安定供給に影響が及ぶおそれがあります。そのため、現時点で基本料金を含めた水道料金の引下げは考えていません。本市は広い区域に多くの施設を抱えており運営コストが高くなりやすい構造ですが、一般的な使用条件で比較すると、県内10市の中では３番目に安い水準を維持しています。今後は、人口減少による減収や物価高騰による経費増が続くなか、計画的な施設更新や耐震化を進める必要があるため、いずれは料金の値上げを行わざるを得ないと考えていますが、値上げ幅をできる限り抑えながら、安全で安心な水の安定供給を維持します。

問　基本水量（※）が10㎥と多く、水の使用量が少ない人にとっては高く感じられると思うが、どのように設定しているのか。

（※基本料金の中に最初から含まれている追加料金なしで使用できる水量の上限）

答　10㎥という基本水量を設けている理由は、一般的な４人家族が衛生的な生活を過度に節水することなく、料金を気にせず安心して使えるようにするためであり、その目安として10㎥が設定されています。仮にこの基本水量を０㎥にしたとしても、水道事業を維持するための固定費をまかなう基本料金自体が極端に安くなるわけではありません。



You Tube
録画中継は
こちらから

戸　来　　伝
（柊の会）

苦悩する農業者の現状と課題
市長は真剣に考えているか

国や県、ＪＡとも連携し
支援や課題解決に取り組む

問　少子高齢化による担い手不足、国の補助金制度の複雑化など、苦悩する農業者の現状と課題について市長はどこまで真剣に考えているか。

答　担い手不足や生産資材の高騰だけでなく、今年の米価下落などにより、厳しい経営状況にあると認識しています。これまでリスクに備えるための農業経営収入保険の加入促進やスマート農業機器等の導入に対し市独自の補助を行ってきましたが、単独支援のみでは限界があるため、今後は国・県の動向を注視し、ＪＡとも連携しながら支援制度の充実や課題解決に向けた農業政策に取り組みます。

問　悩みの多い農業者と対話したことはあるか。

答　農業経営における現状や課題を正しく理解するため、田植時期の圃場視察や野生鳥獣被害の現場確認、市民懇談会や地域農業再生協議会総会など様々な場面を通じて直接農業者の声を聞く機会がありました。特に不安定な米価の動向が、離農や担い手不足に拍車をかけることを深く危惧しており、今後も農業者との対話を重ねながら、本市農業の振興と持続可能な農業の実現に向けて取り組みます。

問　今年の主食用米の概算金が昨年よりも大幅に下落するとの報道が出ているが、米農家は幾らになれば経営していけると考えるか。

答　これまでの５年間の概算金の平均がだいたい１万7,000円から１万8,000円の間になるので、それ以上の価格にならなければ続けていくことは難しいと考えています。

問　これからの農業情勢を見据え、ＪＡと連携しながら生産者の手取り額が２万円位になるような体制づくりに取り組んでほしいと考えるが、市長の思いは。

答　実情を踏まえながら、慎重に判断します。

本会議・各委員会の議員出欠状況

令和8年第2回定例会終了後から令和8年第3回定例会まで　※「○」は出席、「×」は欠席、「－」は所属外

日付	会議名	総務文教常任委員							観光建設常任委員								民生福祉常任委員						議長	出席人数（人）
		江渡信貴	笹渕峰尚	山端美樹子	竹島直樹	小笠原良子	久慈年和	工藤正廣	今泉信明	中嶋秀一	小山田剛士	中尾利香	山端博	斉藤重美	戸来伝	山田洋子	太田正幸	氣田量子	堰野端展雄	小川洋平	石橋義雄		
7月30日㈭	議会運営委員会	○	－	－	－	－	○	○	－	○	－	○	○	○	－	－	－	○	○	－	○		10
8月20日㈭		○	－	－	－	－	○	○	－	○	－	○	○	○	－	－	－	○	○	－	○		10
8月26日㈬		○	－	－	－	－	○	○	－	○	－	○	○	○	－	－	－	○	○	－	○		10
8月26日㈬		○	－	－	－	－	○	○	－	○	－	○	○	○	－	－	－	○	○	－	○		10
9月16日㈬		○	－	－	－	－	○	○	－	○	－	○	○	○	－	－	－	○	○	－	○		10
8月　5日㈬	議会改革特別委員会	○	－	○	－	－	－	－	－	○	－	×	－	－	－	○	○	－	○	－	－		6
8月　5日㈬	病院経営改革特別委員会	－	○	○	○	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－		8
9月　1日㈫		－	○	○	○	－	－	－	○	－	○	－	－	－	－	○	○	○	－	－	－		8
8月26日㈬	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		7
8月26日㈬	観光建設常任委員会	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	－	－	－	－	－	－		7
9月　2日㈬	民生福祉常任委員会	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	－		5
8月　6日㈭	第１回臨時会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		19
8月26日㈬	第３回定例会（開会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		20
9月　8日㈫	第３回定例会（一般質問①）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		20
9月　9日㈬	第３回定例会（一般質問②）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		20
9月10日㈭	第３回定例会（一般質問③）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		20
9月18日㈮	第３回定例会（閉会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		20
9月15日㈫	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		20
9月16日㈬		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		20

行政視察報告

各委員会では、所管する事務に関する審査や調査のため、他の自治体の先進的な取組について行政視察を行い、市政への反映に努めています。

視察報告書は、掲載準備が整い次第、市ホームページでご覧いただくことができます。

総務文教常任委員会

・視察期間：令和８年７月６日㈪～８日㈬
・視察地及び視察事項
石川県小松市
◆シティプロモーションの取組について
福井県鯖江市
◆鯖江市役所ＪＫ課プロジェクトの取組について



民生福祉常任委員会

・視察期間：令和８年７月１日㈬～３日㈮
・視察地及び視察事項
奈良県橿原市
◆子ども総合支援センター事業（発達障がい児に係る支援の拠点施設）について
兵庫県川西市
◆子どもの人権オンブズパーソンについて



観光建設常任委員会

・視察期間：令和８年７月８日㈬～10日㈮
・視察地及び視察事項
岐阜県白川村
◆白川郷レスポンシブルツーリズムについて
富山県射水市
◆射水アグリテックバレーについて



令和８年第４回定例会の開催予定

１１月　６日(金)	本会議（開会）
１１月２０日(金)	一般質問
２４日(火)	
２５日(水)	
１１月２７日(金)	本会議（閉会）

※会議の開始はいずれも午前10時からです。
※各常任委員会の開催予定日は未定です。
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

請　願

継続審査

○(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業に関する請願

新たに受理し、継続審査となりました

○物価高騰対策事業者支援の継続・拡充を求める請願

編　集　後　記

十和田市秋まつりや国スポ開催に向け活気と賑わいに包まれる中、第３回定例会が閉会いたしました。市政に対する一般質問では、議員19人（議長以外の全員）が登壇。これまでの歩みを未来へとつなぐため、活発な質疑や意見、要望が交わされました。

議員全員が登壇し議論を深める姿は、まさに議会全体の活気と熱意の表れであると感じております。

（文責　斉　藤　重　美）

議会だより編集委員会

委員長	中　尾　利　香	副委員長	竹　島　直　樹
委　員	山　端　美樹子	委　員	太　田　正　幸
〃	笹　渕　峰　尚	〃	山　端　　博
〃	斉　藤　重　美	〃	江　渡　信　貴

発行／十和田市議会　　編集／議会だより編集委員会　　令和８年11月１日発行

〒034-8615　青森県十和田市西十二番町6番1号
TEL(0176)51−6781　FAX(0176)25−0726
ホームページ　https://www.city.towada.lg.jp/bunya/sigikai/
E-mail　gikai@city.towada.lg.jp